第3種 青苗漁港
（北海道奥尻町）

奥尻地域マリンビジョン策定（推進地域）

青苗（あおなえ）地区特定漁港漁場整備事業計画

奥尻圏域
流通拠点

現状と課題

・今後発生しうる災害に対して漁港背後地の被害軽減や災害後における施設利用の早期再開に課題がある。
・荒天時には防波堤からの越波により港内が擾乱し、海上での蓄養作業に支障をきたしており、蓄養殖漁業の生産力強化に課題がある。
・休漁期における漁船保管に支障をきたしており、漁業活動の効率化が課題。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：84隻
利用漁船：118隻
（内、外来漁船：34隻）
属地陸揚量：81トン
属地陸揚金額：1．1億円
主な魚種：ウニ類、メバル類
組合員数：48人

◎青苗漁港の役割

・スルメイカ漁場やホッケ漁場への前進基地として、道内外のイカ釣り漁業、ホッケ底建網漁業の生産拠点

主　要　対　策

主な整備方針

・災害に対する被害軽減や災害後における施設利用の早期再開を図るため、主要防波堤の耐津波対策及び耐震強化岸壁に接続する道路等の液状化対策を行う。
・島内基幹産業である水産業の安定を図るため、防波堤の嵩上げ改良や桟橋岸壁、防砂堤の整備、泊地浚渫等の整備を行う。
・漁業活動の効率化を図るため、岸壁の低天端改良及び防風柵整備を行う。また、休漁期における漁船保管に支障をきたしているため、用地の舗装を行う。

基本事項

全体事業費：48．1億円
事業期間：R5～R14

主要な対策①：蓄養殖拠点の形成

海上生け簀での作業

荒天時の越波及び港内擾乱

主要な対策②：漁港における防災機能強化

北海道南西沖地震による
青苗漁港の被害